

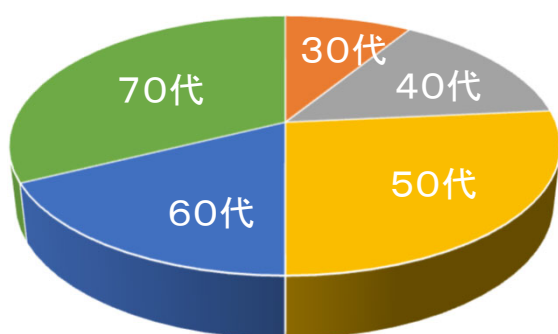
令和4年度 「国有林モニターアンケート」調査結果

近畿中国森林管理局では、国有林モニターにご登録いただいている皆さまから、今後の国有林野の管理経営や広報活動の参考にさせていただくために、以下のアンケートにご協力いただきました。

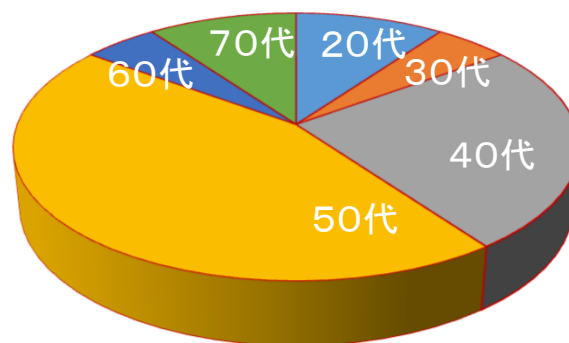
調査時期	令和4年7月		
調査方法	アンケート用紙の郵送による回答及びホームページの専用フォームからの回答		
回収状況	アンケート依頼モニター数	78	名
	アンケートの回答者数	54	名
	アンケートの回答率	69	%

ご回答いただいたモニターの年代別構成 (人)

区分	男性	女性	計
20代	0	2	2
30代	3	1	4
40代	5	5	10
50代	9	9	18
60代	6	1	7
70代	11	2	13
計	34	20	54

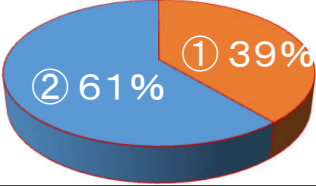


男性



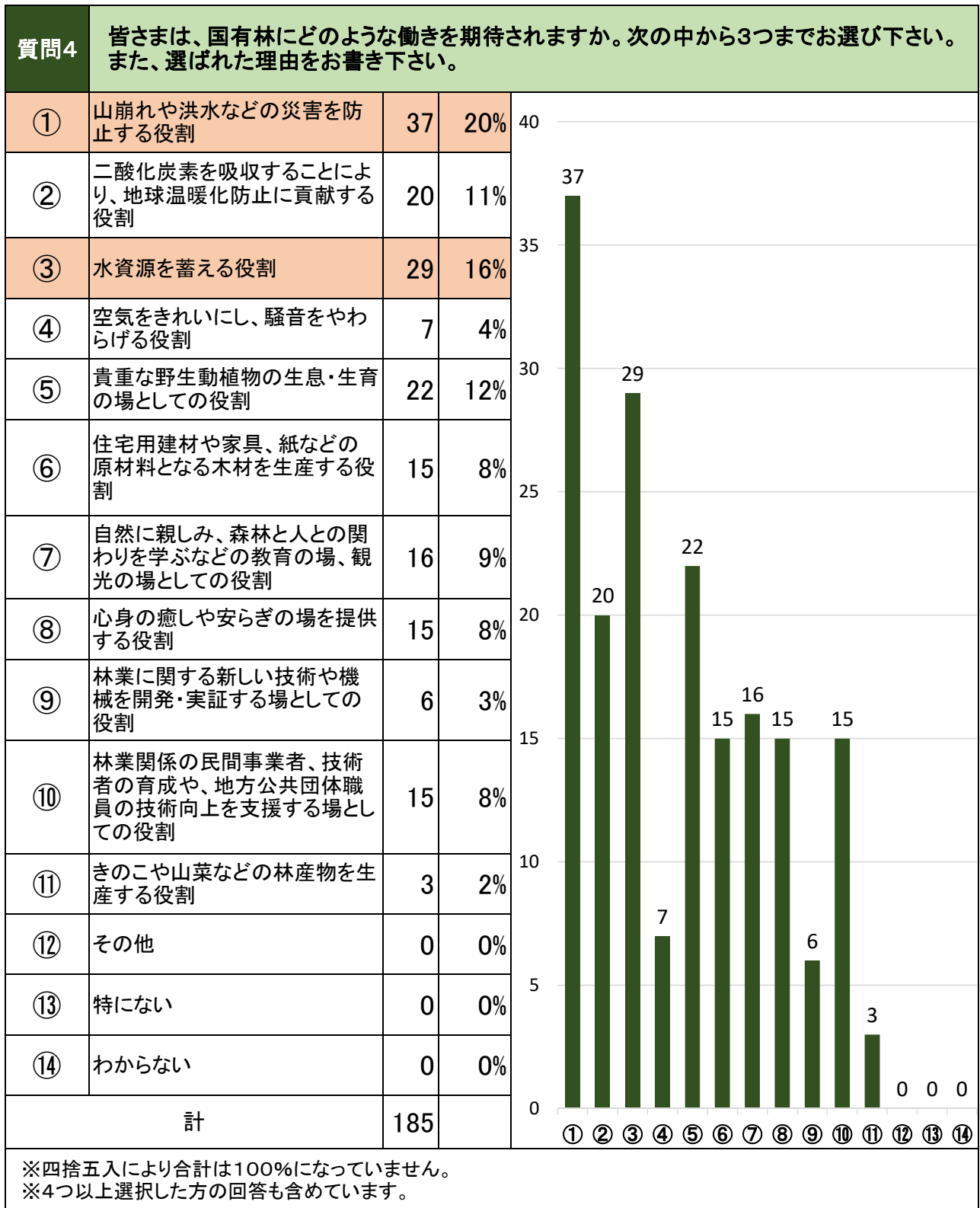
女性

質問1	皆さまにとって国有林は、身近な存在として感じられますか。次の中からお選びください。		
①	国有林は身近に感じられる	21	39%
②	国有林は身近に感じられない	33	61%
	計	54	



質問2	質問1で「国有林は身近に感じられる」とご回答された皆さまにお伺いします。そのように感じられた理由をお書きください。
	<ul style="list-style-type: none"> ○身近に存在して、重装備なしで散歩に行ける所があるため。 ○自然環境の秩序維持に欠かせないから。 ○狩猟・有害鳥獣捕獲をしており、国有林へは許可を得て入林することが度々あるため。 ○森林地域に囲まれているため。 ○過去2度モニターをさせていただき、現地勉強会に参加、森林整備(間伐、獣害対策)、治山事業の他、先進的な取り組み含め、国有林事業全般に幅広く理解を得られたため。 ○継続的に最先端の様々なことを学んでいくうちに、問題点もまた課題があることを知り、広い視野で国有林全体を考えることができるようになってきた。 ○ツーリングやハイキングなどで付近を通ることがあり、手入れされた国有林をよく見かけるため。 ○国有林は、国土の保全の根幹をなすものであるから。 ○仕事上、国有林との境界を確認したり、どういった施策が行われているか見聞きしているから。 <p>お住まいの近くの国有林を訪れたり、日ごろから趣味の登山や仕事などで森林に触れたりしている方々からの回答を多くいただきました。</p>

質問3	質問1で「国有林は身近に感じられない」とご回答された皆さまにお伺いします。国有林にどのようなイメージをお持ちですか。
	<ul style="list-style-type: none"> ○国が管理している森林ではあるものの、具体的には、どこの森林が国有林であるのか、判別できない。 ○国有林と民有林の区別がつかない。国有林は山の奥にあるイメージがある。 ○国が管理している広大な面積を持つ山林のイメージ。 ○遠くに存在し、いつの間にか道路ができています。 ○生活圏内で国有林を目にする事がない。 ○御用林などの特別な場所で立入禁止の場所なのかなと思っていた。 ○どこが国有林なのか判らず、表示もみることがないので実感がありません。ただ、今回モニターになり「国有林の変遷」とQ&Aで、国有林の歴史と現状が知れたことで少し身近に感じられました。 ○普段の生活ではあまり意識ができません。台風などの被害によるニュースで感じる程度です。 ○近くになく、どういうものか知る機会もふれる機会もほとんどない存在でしたが、環境を守るために必要なものだと思っていました。 <p>国有林の位置がわからない、森林はあっても国有林かどうか分からない、どのような関わりがあるかわからない、というご意見を多くいただきました。</p>



質問4 選ばれた理由をお書き下さい。

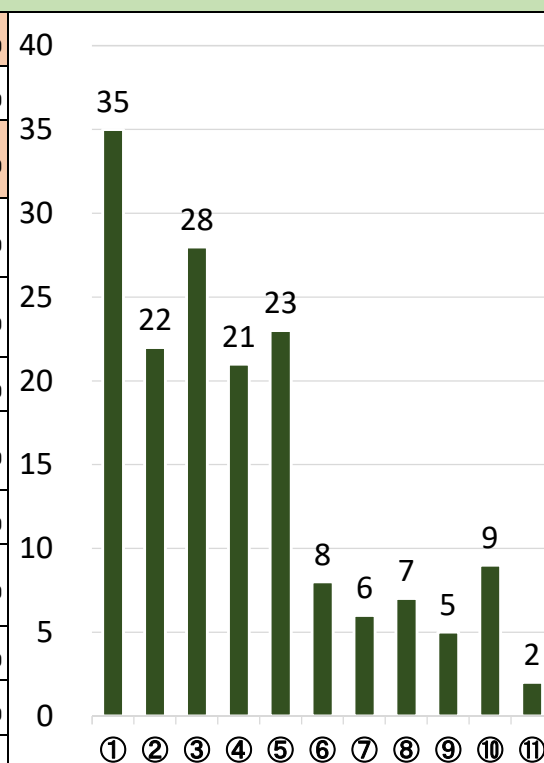
- ①③災害の防止や水資源の保持などは直接生活に結び付くものであり命に関わるものだから。
- ①②⑦災害を防止したり、環境を守ったりと、私たちの生活を守るような存在であるだけでなく、直接触れたりもっと身近に感じられるような存在であってほしいから。
- ①⑦⑩災害防止、教育・観光の場としての役割、林業関係の民間事業者、技術者の育成等の業務を担ってほしい。
- ②地球温暖化防止をはじめ、森林が果たす地球環境の保護にもっと多くの人が注目し、協力すべきだと思う。
- ②⑥国の事業であるので、脱炭素社会の実現という観点と資源の有効な活用という観点が特に重要と思います。
- ③⑥近年、ゲリラ豪雨による水災が多く見受けられるようになってきた中、森林が災害を防ぐ働きがあり、逆に渇水の際は水資源の貯蓄の働きもある。また、木材の大半を海外からの輸入に頼っているばかりではなく、国産木材も多く使われるようにならないかと考える。
- ⑤国有林から搬出される樹木の多くは手入れが出来ていないと評価されます。ですので、野生動物の生息の場や水資源を整える場所としての活用が一番しっくりきました。
- ⑦都市部などは緑が少なく癒しの場が少ないため。
- ⑧私たちの生活が心身共に癒され、有意義な生活が出来るようになりたいです。

災害の防止に関する働きへの期待が最も多く、次いで水資源を蓄える役割、貴重な野生動植物の生息・生育の場としての役割への期待を多くいただきました。また、脱炭素社会の実現に向けた、森林の二酸化炭素吸収機能についての期待も多くいただきました。

(単位：%)

質問5 皆さまは、森林をどのような目的で利用したいですか。次の中からお選び下さい。(複数回答可)

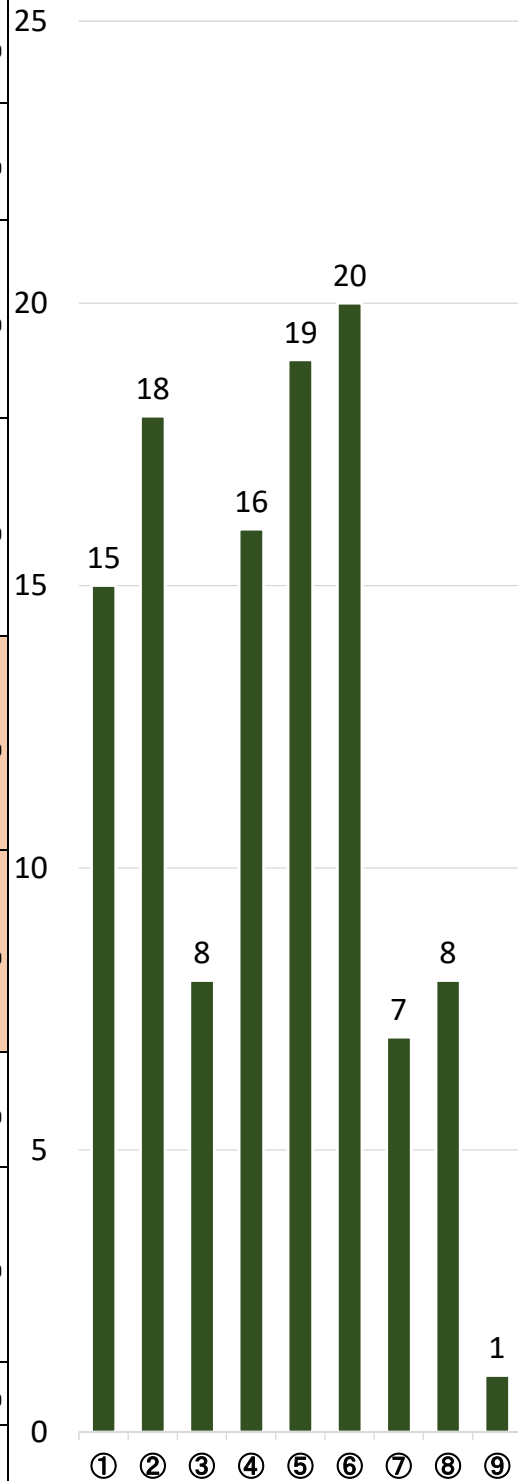
①	登山、ハイキング	35	21%
②	キャンプ	22	13%
③	自然を活用した保育・幼児教育	28	17%
④	企業や団体が行う森林の中での研修への参加	21	13%
⑤	企業や団体による社会貢献活動への参加	23	14%
⑥	森林の中でのヨガや瞑想	8	5%
⑦	音楽鑑賞及び芸術鑑賞などの文化的活動	6	4%
⑧	ワーケーション	7	4%
⑨	トレイルランニング、自転車による走行	5	3%
⑩	その他	9	5%
⑪	特になし	2	1%
計		166	



※⑩その他は (写真撮影、散歩、植物観察等の役割)、(生活のために利用)、(荒れた森の手入れ・再生、自然の中での動植物との共生)、(狩猟・有害鳥獣捕獲の場)等の意見をいただきました。

登山、ハイキングや自然を活用した保育・幼児教育、企業や団体による社会貢献活動への参加での目的で森林を利用したいとの回答を多くいただきました。

質問6 令和4年度の林野関係当初予算及び令和3年度補正予算は、約4,200億円計上されていますが、皆さまは、次のどの分野の経費に予算を手厚く配分されるべきだと思いますか。次の中から2つまでお選び下さい。			
①	間伐や主伐後の再生林の省力化・低コスト化、林道の開設・改良等を推進する経費	15	13%
②	災害に対応した治山対策の強化、津波に強い海岸防災林の整備を推進する経費	18	16%
③	ICTによる資源管理・生産管理や、早生樹、エリートツリー等の生産拡大に向けた採種穂園の整備、自動化機械や木質系新素材の開発など「林業イノベーション」を支援する経費	8	7%
④	国際競争力強化に向けた木材加工施設の大規模化や高付加価値品目への転換、木材不足・価格高騰(いわゆるウッドショック)への対応として国産の製品等への転換促進等を支援する経費	16	14%
⑤	新規就業者の確保・育成、林業への就業前の青年に対する給付金の支給、現場管理責任者等の育成や技能検定制度の創設、森林経営管理制度を担う技術者の育成等を支援するための経費	19	17%
⑥	森林・山村の多面的機能の発揮や山村地域の活性化を図るため、地域の活動組織が実施する森林の保全管理、森林資源の利用、関係人口の拡大を図る取組等を支援する経費	20	18%
⑦	花粉症対策苗木や広葉樹等への植替の支援、花粉飛散防止・抑制への調査研究に係る経費	7	6%
⑧	シカ被害を抑制するため、広域的な捕獲への支援、ICT等を活用した新技術の開発・実証、国有林野における国土保全のための捕獲事業の実施等に係る費用	8	7%
⑨	その他	1	1%
計		112	



※⑨その他は（荒れた森林の引き取り、再生に係る費用(植林地の伐採により、引き取りのコストを相殺)）との意見をいただきました。

※四捨五入により合計は100%になっていません。

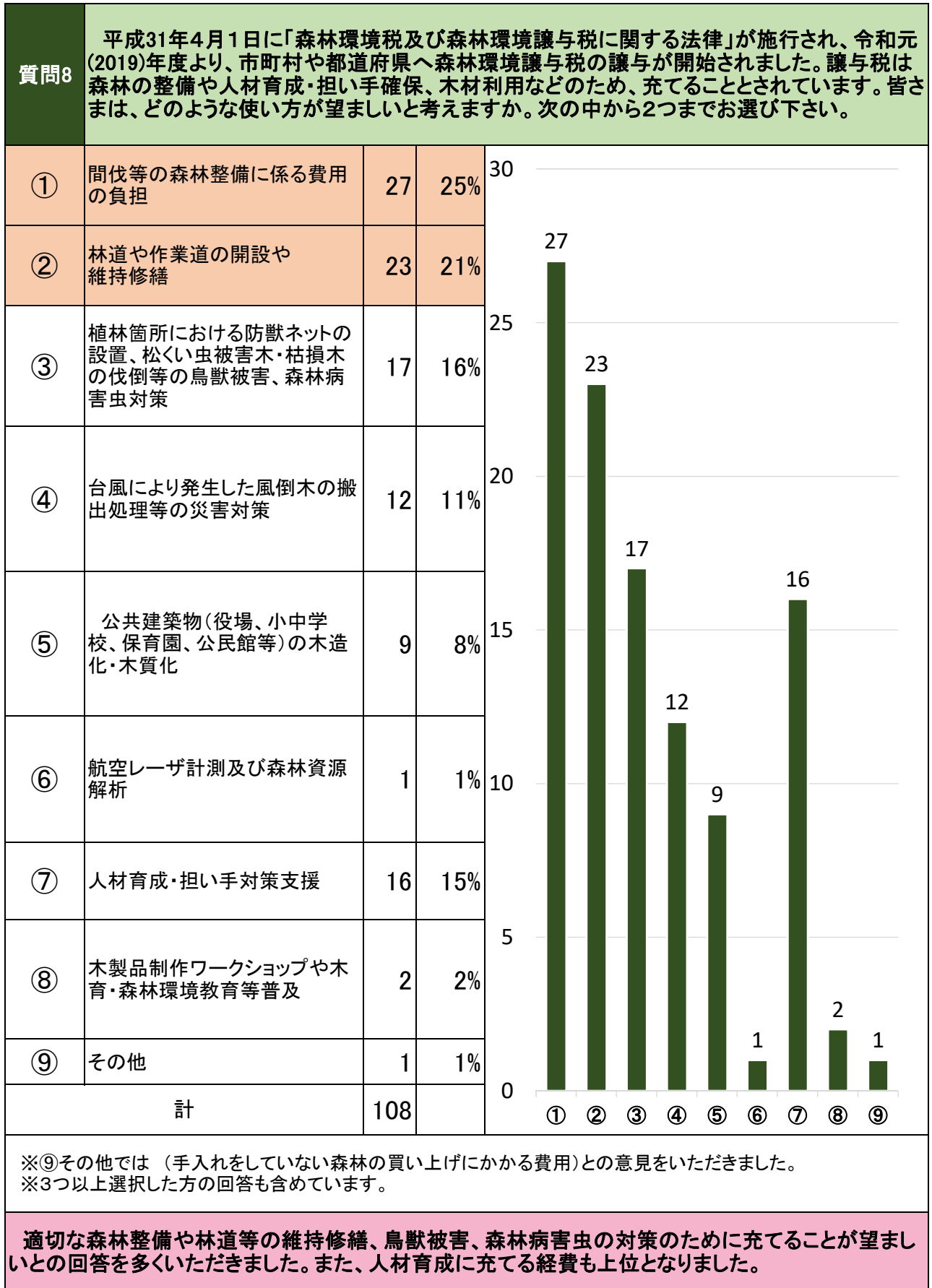
※3つ以上選択した方の回答も含めています。

山村地域の活性化を図るための経費、林業の新規就業者の確保等人材育成に充てる経費が上位となり、次いで災害復旧と予防対策に充てる経費の選択が多い結果となりました。

質問7 4月分資料として送付しました、近畿中国森林管理局「令和4年度重点取組事項」の中で、皆さまが最も興味をひかれた項目は何ですか。次の中から1つお選び下さい。また、選ばれた理由をお書き下さい。			
①	治山・災害復旧対策の推進	16	29%
②	市町村等民有林への技術支援	12	21%
③	「新しい林業」への挑戦	17	30%
④	ICT技術の導入や他機関と連携した業務の推進	11	20%
計		56	

※2つ以上選択した方の回答も含めています。

質問7 選ばれた理由をお書きください。	
<p>①毎年、大規模災害が多発しており、被害対策が最重要課題であるため。</p> <p>①近年異常気象とも思われる局地的な豪雨をはじめとする天災・被害が増加していると感じる。その対応として、森林の水を貯える抵抗力を高め、予防に力を入れるべきと考える。</p> <p>①流域治水と連携した国土強靱化対策が重要(国土交通省との連携)。</p> <p>②森林環境税を原資とし、森林環境譲与税が交付され、森林経営管理制度が推進されようとしています。市町村単位で格差が生じないような施策を展開していただきたいと思えます。</p> <p>②災害発生時の初動対応・民有林支援やICT技術の普及や森林・林業技術視察は市町村等民有林支援において非常に大事なことではないかと考えている。</p> <p>②民有林が高齢化と人手不足等で思うに任せない現状だと聞いている。山の資源価値は国有林も民有林も同じ、うまく足並みをそろえて、豊かな価値を生み出したい。</p> <p>②技術・人材育成支援は待った無しの状況と認識しております。森林技術総合研修所や各森林管理局においては、森林・林業に関する専門的かつ幅広い知識や技能に対応し、各地方公共団体職員との合同研修を鋭意進めるべきと思えます。</p> <p>③継続可能な林業を目指すべきと思いました。</p> <p>③林業はキツそうなイメージがあるが、新しい技術を取り入れて官民一体となって日本の貴重な資源である山を守っていく取り組みに興味をひかれた。</p> <p>③「新しい林業」への挑戦として、推進プロジェクトチームの設置をしたのが、最も興味をひかれた。</p> <p>③低コスト省力造林部会での取組結果を検証されて、他の地域にも反映していただければ、治山に役立つのではないかと考えたため。</p> <p>④低コスト化、労働の軽減、好循環サイクルを目指すために必要なファクターだと思います。</p> <p>④ICT技術などの新しいものをどんどん取り入れたり、発信力を高めたり、様々な機関と連携したりすることで、より多くの方が国有林について知ったり関わったりでき、とても良いと思ったから。</p> <p>④どんどん効率化できることをICTで実現できる時代だから。</p> <p>④4つの項目全部、連動しているように思います。なので特定の人ばかりが関心を持って頑張るのではなく、多くの方ができる形で森林保全に関わるのが良いと感じます。</p>	
<p>ほぼ均等な結果となりました。①については近年の異常気象等による大規模災害への対策、③については持続可能な林業や低コスト化に期待する声を多くいただきました。</p>	



質問9		2050年カーボンニュートラルの実現に向け、森林の二酸化炭素吸収や再エネ資材である木材や木質バイオマスのエネルギー利用、森林・木材由来のJ-クレジット等に注目が集まっています。皆さまは、テレビやインターネット、新聞等で森林や林業に関する単語や記事を目にする機会が増えたと感じますか。当てはまるものをお選び下さい。	
①	感じる	10	19%
②	どちらかというと感じる	16	30%
③	どちらでもない	10	19%
④	あまり感じない	12	22%
⑤	感じない	6	11%
計		54	

※四捨五入により合計は100%になっていません。

質問9		「1感じる」「2どちらかというと感じる」と回答した方へお伺いします。よく見る単語や記事はどういったものですか。お書き下さい。	
<p>・木質バイオマスエネルギー利用で、公共施設や農園芸ハウス等における木質バイオマスボイラーの利用や、学校や家庭における木質ペレットストーブの利用をしているのが、インターネットや記事でよく見る。</p> <p>・自然環境系の記事等で、バイオマス利用についての記事をいくつか見たことがあります。</p> <p>・地球温暖化を防ぐために、温室効果ガスの発生防止に努める取組。</p> <p>・再生可能エネルギーへの転換に向け発電施設建設を促進するため、保安林の解除や国立・国定公園の規制緩和が進められているという記事。</p> <p>・森林伐採による温室効果ガスの吸収量が減っている記事を目にした。また、木の老齢化による吸収量減少も大きい。</p> <p>・それぞれの用語を目にすることは増えていると思うが、それらがイメージとして林業と結びついてこない。</p> <p>【単語の回答】 カーボンニュートラル、2015年パリ協定、脱炭素社会、再生可能エネルギー、太陽光発電、スマート林業、JAS認証材、ウッド・チェンジ協議会、炭素個体、森林調査のICT化、森林環境譲与税、木づかい運動、ウッド・デザイン賞、商事会社等の森林購入、木質間伐材の有効利用・集成材によるビル建設、森林の持つ水源涵養機能、森林セラピー、木質バイオマス発電、バイオマス熱利用、バイオマスチップ・ペレット</p>			
<p>脱炭素社会や再エネ資材である木材や木質バイオマスのエネルギー利用等の持続可能な社会の実現に向けた取組に関する単語、記事をよく見るようになったとの回答する方が多くいました。他にも、温室効果ガスの削減や吸収量確保、令和元年(2019)度より譲与が開始された森林環境譲与税について、スマート林業について等の単語、記事を見るようになったとの回答を多くいただきました。</p>			

(単位：%)

質問10		皆さまは、国有林モニターとしての活動の内容や、活動を通して知ったことを身の回りのどのような人たちに向けて伝えたいと思われませんか。次の中から当てはまるものをお選びください。(複数回答可)	
①	家族や友人に話したい	36	44%
②	知人や同僚に話したい	30	37%
③	SNSや地域の冊子などで多くの人々に発信したい	8	10%
④	誰かに伝えようとは思わない	0	0%
⑤	その他	8	10%
計		82	

※⑤その他は(役場の林業の担当者)、(地区の集いに積極的に発表)との回答をいただきました。
 ※四捨五入により合計は100%になっていません。

家族や知人、同僚を含む身の回りの方々や、SNSを利用した発信を行いたいとの回答を頂きました。

以上、令和4年度国有林モニターアンケート(第1回)調査結果でした。
 ご協力ありがとうございました。

質問11	近畿中国森林管理局における「令和4年度重点取組事項」やこれまで送付させていただいた各種冊子等の中で、特にわかりづらい表現や専門用語等があればお聞かせ下さい。
------	--

1 「J-クレジット」と「森林クレジット」とは

J-クレジット制度とは、省エネ設備の導入や再生可能エネルギーの利用によるCO2等の排出削減量や、適切な森林管理によるCO2等の吸収量を「クレジット」として国が承認する制度。
 森林クレジットとは、そのうちの森林・木材分野由来のクレジットのことであり、間伐などの森林の適切な管理を行うことによるCO2吸収量をクレジットとして国が認証したもの。
 承認されたクレジットは、「地球温暖化対策の推進に関する法律」の報告書における排出係数の調整やカーボン・オフセット等に活用したい企業、地方自治体等が購入できる。また、クレジット購入代金は、クレジット創出者に還元され、さらなるCO2等の排出削減・吸収の取組や、地域活性化等に活かすことができる。

2 カーボンオフセット

日常生活や経済活動において避けることができないCO2等の温室効果ガスの排出について、まずできるだけ排出量が減るよう削減努力を行い、どうしても排出される温室効果ガスについて、排出量に見合った温室効果ガスの削減活動に投資すること等により、排出される温室効果ガスを埋め合わせるという考え方。

3 木質バイオマス

「バイオマス」とは、生物資源(bio)の量(mass)を表す言葉であり、「再生可能な、生物由来の有機性資源(化石燃料は除く)」のこと。そのなかで、木材からなるバイオマスのことを「木質バイオマス」としている。

木質バイオマスには、主に、樹木の伐採や造材のときに発生した枝、葉などの林地残材、製材工場などから発生する樹皮やのこ屑などのほか、住宅の解体材や街路樹の剪定枝などの種類がある。

4 グリーン成長

森林を適正に管理し、林業・木材産業の持続性を高めながら、成長発展させることで、2050年カーボンニュートラルも見すえた豊かな社会経済を実現させることを指す。

5 ウッドチェンジ

身の回りのものを木に変える、木を暮らしに取り入れる、建築物を木造・木質化するなど、木の利用を通じて持続可能な社会へチェンジする行動を指す。

7 森林クラウド

各ユーザ(都道府県、市町村、森林組合等)で管理していた森林情報を、インターネット(クラウド)上で一元的に管理するシステム。また、地理情報システム(GIS: Geographic Information System)の機能を持ち、属性情報や地図情報を管理する機能を持つ。

※地理情報システム(GIS): 地理的位置を手がかりに、位置に関する情報を持ったデータ(空間データ)を総合的に管理・加工し、視覚的に表示し、高度な分析や迅速な判断を可能にする技術。

8 デューデリジェンス

デューデリジェンス(Due Diligence)は、ビジネス用語として、投資を行う際に投資対象に十分な価値があるのか、リスク等を詳細に調査する作業を指し、通常、案件の実態を事前に把握し、価格や取引について適切な意思決定をするために行われる行為のこと。

林野庁情報誌「林野」令和4年4月号で掲載されたクリーンウッド法でも上記の考え方を導入し、木材関連事業者が取り組むべき措置として、木材等の原材料の樹木が合法に伐採されていることの確認を行う旨を規定。製品の商標、樹種、伐採国などの文書と、国が提供する情報、購入先との過去の取引実績等を踏まえ合法性を確認し、確認が取れない場合は追加的措置として、購入先等その他関係者からの追加情報の収集や流通経路の把握等をおこなう。